



発行日：2008年10月10日
発行所：浦和大学・浦和大学短期大学部 入試広報課
さいたま市緑区大崎3551
☎ 0120-860-294(入学相談窓口) TEL 048-878-5536
FAX 048-878-5690 URL http://www.urawa.ac.jp/

浦大レター

特集 学部・学科特集号

「総合福祉」・「こども」・「介護福祉」 各学部・学科の学びの特徴を紹介!!

浦和大学は1987年4月に浦和短期大学として開学しました。2003年4月には4年制大学の浦和大学が開学し、浦和短期大学は浦和大学短期大学部と名称変更し新たなスタートを切りました。現在、浦和大学は総合福祉学部とこども学部の2学部、浦和大学短期大学部には介護福祉科の1学科が設けられており、専門教育を行っています。

今号の浦大レターでは、各学部・学科の取り組みやカリキュラムの特色を紹介していきます。



CONTENTS

- 総合福祉学部紹介 2・3
2009年4月新コース制(心理・ビジネス・スポーツ)導入
- こども学部紹介 4
「こどもと育つ」こどもコミュニティセンターでの学び
- 浦和大学とライオン大学との交流 5
こども学部が国際セミナーを開催
ライオン大学スタディツアーを実施
- 介護福祉科紹介 6
介護福祉士養成カリキュラム改正の特徴
- 学部トピックス 7
大崎むつみの里 清掃ボランティア活動
高校・大学連携授業への取り組み
「ぼっけ」の活動が内閣府のホームページで紹介
- 入試相談会・AO入試のご案内 8

浦和大学 総合福祉学部

2009年4月より 3つのコースを 新設!

「社会福祉」「ビジネス」「健康スポーツ」の分野で 活躍する福祉のプロを育成

浦和大学総合福祉学部では、2009年4月より新たに3つに分かれたコースを設けます。昨今、福祉に関する社会的ニーズは多様化しており、こうした流れを受け、卒業後に目指す分野によって1年生時からより専門的な学習が行えるようになります。

本頁では3つのコースの特徴や授業科目、取得可能な資格について紹介します。

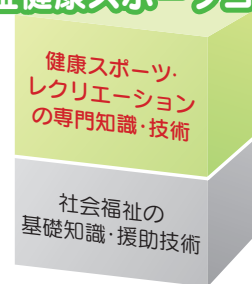
人間福祉・心理コース



福祉ビジネスコース



福祉健康スポーツコース



人間福祉・心理コース

現代社会で起こる多様な社会問題へ対応できる ソーシャルワーカーを育成

高齢者医療、児童虐待、非正規労働者の問題など多くの社会問題が発生しています。このような社会問題の解決のために即戦力のあるソーシャルワーカーを育成します。そのため、社会福祉の知識・技術に加えて、心理・介護など多様な能力の向上を目指します。また、充実した受験対策により社会福祉士国家試験の合格を目標に徹底指導します。



主な授業科目例

- 社会保障
- 高齢者に対する支援と介護保険制度
- 障害者に対する支援と障害者自立支援制度
- 心理学 ● 臨床心理学実習

取得可能な資格

- 社会福祉士国家試験受験資格 ● 認定心理士
 - 訪問介護員二級 ● 社会福祉主事(任用資格)
- など

目指す進路

- 社会福祉施設 ● 福祉関連企業
 - 一般企業
- など

福祉ビジネスコース

福祉の知識をビジネスシーンに活用できる人材を育成

本学の福祉ビジネスコースでは福祉に関する幅広い知識や技術、能力を養い、それに加えてビジネスに関する知識を身につけます。福祉のマインドを身につけつつ福祉分野のみならず、多様なビジネスシーンで活躍できるような人材育成を目指します。カリキュラムには福祉系の科目に加え、経営関係の科目のほかコンピュータ実習、会計関係の授業も組み込まれています。



主な授業科目例

- 情報システム論 ● 情報ネットワーク
- ビジネス実務総論 ● ソフトウェアデザイン
- 会計実務 ● 経営管理論
- プレゼンテーションスキル
- 基礎プログラミング演習

取得可能な資格

- ビジネス実務士 ● 情報処理士
- 福祉住環境コーディネーター
- 福祉情報技術コーディネーター
- 社会福祉士国家試験受験資格
- 社会福祉主事(任用資格) など

目指す進路

- 一般企業 ● 情報関連企業 ● 福祉関連企業
- 福祉機器メーカー ● 社会福祉施設 など

福祉健康スポーツコース

要介護者の増加を防ぐスポーツを活かした新しい福祉の専門家を育成

新介護保険制度では、お年寄りができるだけ「要介護状態にならないようにすること」また、「要介護状態になってもそれ以上悪化しないようにすること」を目標にしています。福祉健康スポーツコースでは、こうしたニーズに対応するためにお年寄りの健康相談、健康づくりの指導(介護予防)ができる社会福祉士の専門家の育成を目指します。



▲健康・スポーツを通じて介護予防に貢献できる指導者を育成

主な授業科目例

- 健康管理論 ● 健康づくりと運動プログラム
- 栄養と体重調節 ● エアロビクス運動
- スポーツ・レクリエーション論 ● キャンプ実習

取得可能な資格

- 介護福祉士国家試験受験資格(通信教育支援)
- 社会福祉士国家試験受験資格 ● 社会福祉主事(任用資格)
- 訪問介護員2級 ● 健康運動実践指導者受験資格
- レクリエーションインストラクター
- 障害者スポーツ初級指導員 ● キャンプインストラクター など

目指す進路

- 社会福祉施設 ● 福祉関連企業
- 社会福祉協議会 ● スポーツ施設
- スポーツ関連企業 など

浦和大学 こども学部

「こどもと育つ」 こどもコミュニティセンター での学び

こども学部は2007年4月に新設された学部で、
本年度2年目をむかえます。「こどもと育つ」を理念に、
こどもや地域との関わりの中で実践的な学びができるカリ
キュラムや施設を備え、保育者の育成を行っています。
ここではこども学部の学びの特徴について紹介します。



「ぼっけ」での活動風景。施
設は大学内にあり、身近に
こどもがいる環境の中で学
べます

Point 地域の親子とのふれあい ー親子のひろば 「ぼっけ」での学びー

こどもコミュニティセンターの中心
的活動である親子のひろば「ぼっけ」は、地
域の子育て支援の場として2007年10月
に大学内に開設されました。0～3歳児の
親子が自由に集う場として、開設から本年
8月までの約1年間にのべ512組(4,440名)
の親子が訪れています。

「ぼっけ」は、こども学部の学生が授業で
学んだ内容を実践に結びつける場として
活かされています。保育者を目指す学生に
とって、「ぼっけ」に訪れる親子との出会
いは、こどもの育ちにふれる貴重な機会
であり、保育者としての基礎であるこども
や親とのコミュニケーションを学びます。



▲「ぼっけ」に置かれている人形やおもちゃ、絵本
の一部は、こども学部の学生の手作り。こうした取
り組みも学びのひとつです

Point 特徴ある授業で「こどもの育ち」を学ぶ ー「こども理解と観察」ー

こども学部の特徴はユニークな授業にもあらわれて
います。「こども理解と観察」の授業では、赤ちゃん親
子を先生にして、赤ちゃんとお母さんの関係にふれるこ
とで乳児の発達や養育者の役割について学びます。

また「スタディスキル」の授業では、大学近隣地域の
農家の協力のもと、「ぼっけ」に訪れる親子と一緒にブルー
ベリーの植樹や
サツマイモ苗の
植え付けなどを
通して“土に触
れる教育”も行
います。



▲サツマイモ苗植え付けの様子

Point 家族支援先進国カナダに学ぶ ーライアソン大学との提携ー

本学は2008年3月にカナダのライアソン大学と学術
提携を結び、同大学の家族支援職養成プログラムを取
り入れた子育て支援者養成専門講座などを設けていま
す。また2008年7月には、ライアソン大学から講師を
招き、カナダの子育て支援について学ぶ国際セミナー
を開催し、
学生と地域の人々が共に学びました。

本学のこどもコミュニティセンターは、学生とこどもと地域の人々や資源をつなぐ総合的な教育の場として、学生と地域の協働により様々な活動を進めていきます。2008年9月からは「ぼっけ」の開設日も週3日(月・水・金曜日)となり、地域の子育て支援の場、学生たちの学びの場としての活用が期待されています。

浦和大学とライオン大学との交流

こども学部が国際セミナーを開催

浦和大学こども学部は、2008年7月7日(月)～11日(金)にカナダのライオン大学コミュニティサービス学部幼児教育学科からレイチェル・バーマン博士とオーレリア・ディサント博士、同学科で家族支援を学んでいる学生アリスン・ガストンさんを招き「浦和大学国際セミナー」を開催しました。

本学はライオン大学との学術提携をもとに、カリキュラム作成や人材交流などを進めており、今回の国際セミナーが、その本格的な交流の第一歩となりました。

両博士による講演会、ワークショップ、シンポジウムを開催し、海外の家族支援についての取り組みとこれから日本の目指す方向性について発信する機会となりました。

7月10日の国際セミナーは、さいたま市の後援のもと講演会とワークショップを開催しました。さいたま市保健福祉局子ども未来部長の田口昭氏による講演を行い、後半のワークショップではバーマン博士とディサント博士からカナダにおける家族支援プログラムと保育環境の評価、日本との違いや今後の課題などについて学びました。

7月11日は埼玉県、埼玉県福祉協議会、埼玉県国際交流協会の後援でシンポジウムを開催しました。第一部ではバーマン博士に家族支援プログラムとライオン大学における支援者育成



について講演していただき、第二部のシンポジウムでは、埼玉県福祉部少子化対策局少子政策課長の林俊宏氏、埼玉トヨペットCRS環境部社会貢献課はあとねっと輪つる担当副部長の渡辺新一氏をシンポジストとして招き、本学こども学部の伊志嶺美津子教授を加え、行政、企業、大学がそれぞれの立場から、今後どのように子育て支援、家族支援に取り組むことができるかという視点での話と両博士のコメントをいただきました。

国際セミナーの内容については、本学ホームページにも掲載されていますので、是非ご覧ください。



▲九里幾久雄理事長との懇談 バーマン博士(右端)、ディサント博士(右2番目)、ガストンさん(左端)

国際セミナー日程および概要

7月7日	来日		
7月8日	こども学部 自主セミナー	・「家族支援による親や利用者とのコミュニケーション」：レイチェル・バーマン博士 ・「家族支援者による幼児と保育者とのコミュニケーション」：オーレリア・ディサント博士	
	浦和大学国際セミナー(1日目) 講演会・ワークショップ	・「カナダの幼児教育に学ぶ」：レイチェル・バーマン博士 ・「家族支援はなぜこどもたちにとって重要か」：オーレリア・ディサント博士 ・「ライオン大学での学生生活と授業」：アリスン・ガストン	
7月9日	江東区子ども家庭支援センター見学・交流会		
7月10日	浦和大学国際セミナー(2日目) 講演会・ワークショップ(後援：さいたま市)	【基調講演】「さいたま市の子育て・家族をどう支えるか」 田口昭氏(さいたま市保健福祉局子ども未来部長)	
			【ワークショップ】「家族支援プログラムと保育環境を評価する」 レイチェル・バーマン博士/オーレリア・ディサント博士
7月11日	浦和大学国際セミナー(3日目) 講演会・シンポジウム(後援：埼玉県)	【講演】「カナダの家族支援プログラムとライオン大学における家族支援者養成」 レイチェル・バーマン博士 【シンポジウム】「家族・地域をどうつなぐかー行政・企業・大学にできることー」 ＜シンポジスト＞ ・林 俊宏(埼玉県福祉部少子化対策局少子政策課長) ・渡辺 新一(埼玉トヨペットCRS環境部社会貢献課) ・伊志嶺美津子(浦和大学こども学部教授) ＜コメンテーター＞ ・レイチェル・バーマン博士/オーレリア・ディサント博士	
7月12日	送別会		
7月13日	帰国		

ライオン大学スタディツアーを実施

本年9月、こども学部の2年生6人が、ライオン大学へのスタディツアーに参加しました。8日間の訪問中、大学の授業のほか、学生交流、家族支援の施設見学などを行いました。

大学の授業では、教員からの問いかけが多く、考えて発言しなくてはならないので、とても刺激を受けたという感想が聞かれました。また家族支援の施設見学では、大学内の保育施設のクラスに参加し、カナダのこどもたちと接する経験もできました。

また休日にはナイアガラの滝の観光や野球観戦などを楽しみ、カナダの教育と文化と自然に触れた充実したスタディツアーとなりました。



浦和大学短期大学部 介護福祉科

速報 より現場で求められる 生活支援の実践者育成に向け、 介護福祉士養成カリキュラム 改訂案を決定

社会福祉士及び介護福祉士法の改正により、これまで介護福祉士の養成課程を卒業し、厚生労働省へ資格登録することにより付与されていた介護福祉士の国家資格が、2012年(平成24年)度より国家試験への受験資格の取得へと改正となります。

本学ではこうした流れを受け、国家試験受験資格へ移行した後も質の高い介護福祉士を育成・輩出できるよう、教育カリキュラムの大幅な改正に着手しています。これにより本学の介護福祉科では2009年度より新カリキュラムによる教育を実施します。

本頁では、現在進めている新カリキュラムの骨子について紹介します。

(※掲載したカリキュラムの内容は現在策定中のものであり、一部変更となる場合があります)



介護福祉科の新カリキュラムの特徴

1. カリキュラム改正の方向と 時代の流れを先取りした学科の教育

本学では卒業研究レポートの作成により、大学での学びを実践のなかで確認し、統合する教育を既に実施してきました。厚生労働省が定めた介護福祉士養成に関する新カリキュラムの中でも介護総合研究という形で、全国的に実施されることになりました。また本学では、近い将来始まる介護福祉士国家試験の対策も既にスタートしています。

2. 介護福祉士に対する 新しいニーズを踏まえた教育

1997年の学科開設以来、多くの卒業生を輩出し、その卒業生たちは既に施設管理者や介護主任、ユニット長など管理職としての業務を任されるまでになっています。こうした現場で活躍する卒業生や現場の採用担当者から寄せられる、現在の介護現場に必要とされる知識・技術のニーズを反映した教育の実践を目指します。

このような必要性に応えるために、一般教養科目「人間」の領域のなかには倫理学や音楽療法の科目が取り入れられています。また「文化情報」の領域のなかには情報技術を学ぶ必修科目を含んだ「マルチメディア演習」という科目もあります。さらに「経営管理論」という科目の設置も予定しています。

3. 継承されるユニークな実習

浦和大学短期大学部のユニークな実習形態である2年生の前期実習、すなわち週のうち2日間は大学で学び、3日間は施設で実習を行うことで、学びと実習を密接に結びつける「断続的実習」の形態は新カリキュラムでも継承されます。

介護現場での実習の間にも大学の学びがあること、友達との会話が支えになること、利用者さんとの長期間の関わりから深い理解ができることが、学生の大きな成長を可能にしています。

介護福祉科目(案)

領域	授業科目	領域	授業科目
人間と社会	人間の尊厳と自立	こころとからだのしくみ	発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ
	人間関係とコミュニケーション		認知症の理解Ⅰ・Ⅱ
	社会の理解Ⅰ・Ⅱ		障害の理解Ⅰ・Ⅱ
	経営管理論		からだのしくみ・こころのしくみ
	生物学	介護	介護の基本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	生活環境学		コミュニケーション技術
	現代居住環境論		生活支援技術Ⅰ～Ⅵ
	経済学		介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	社会学		介護総合演習Ⅰ・Ⅱ
憲法	介護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		

〈備考〉 授業科目は、上記の介護福祉科目と一般教養科目に分かれます
一般教養科目には、音楽療法やコンピュータの科目等があります

トピックス 浦大TOPICS

TOPICS

1

障がい者の就労移行支援に協力 大崎むつみの里の利用者さんによる学内の清掃作業

本学では、平成19年度から近隣にある障がい者施設「大崎むつみの里」に学内の清掃作業を依頼しています。

この取り組みは、平成18年10月に施行された障害者自立支援法に基づく障がい者サービスの一環として行われており、作業訓練の場として活用されています。障がい者施設での作業訓練には、就労移行支援、就労継続支援（A型・B型）があり、就労移行支援は、訓練後に企業に就職することを目標にしています。また、就労継続支援（A型・B型）は、いずれは

就労移行支援を経て就職するための訓練を受けます。

本学の清掃は、月曜日と水曜日が就労継続支援B型、金曜日は就労移行支援の訓練を受けている人たちが担当されています。



TOPICS

2

介護福祉科が介護系志望の高校生向けに 高校・大学連携授業を実施

短期大学の介護福祉科では、高校で行われている職業理解のための教育への協力として、高校・大学連携授業の実施に取り組んでいます。

本年も浦和実業学園高校、浦和学院高校、足立新田高校から福祉・介護について関心を持つ高校生の方の来校があり、介護福祉科で行われている授業を体験いただきました。介護用ベッドや車いすなどの介護用の機材に触れながら、その扱い方について学ぶとともに、自分自身が車いすに乗ることで介護される側の目線を養い、介護する際に留意すべき点なども学びました。

本学では、これからも高校・大学連携した授業の取り組みに協力していきます。高校の授業のなかでご活用ください。

ご希望の場合は、本学教務課（048-878-3742）までご相談ください。



TOPICS

3

「ぽっけ」の活動が内閣府のホームページで紹介

本学こども学部の子どもコミュニティーセンター「ぽっけ」の活動が、『「家族・地域のきずな」を深める先進的取組事例』として、内閣府のホームページで紹介されました。全国で52件の事例が紹介され、埼玉県からは本学だけが紹介されました。

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）では、平成19年度に少子化政策に関する調査として『「家族・地域のきずな」を深める先進的取組事例調査』を実施しました。その一環として先進的取組事例となるような取り組みを全国の自治体に推薦を求めたところ、さいたま市より浦和大学が推薦され、平成20年2月にヒアリング調査を受けました。

事例は5つの活動分野に分類されており、「ぽっけ」

は「子育て母親支援」の一つとして紹介されています。調査報告書本文にも「学生に授業の中で子育てに参加させ、直接ふれあうことで命の大切さや子育ての尊さを教えている」と紹介されています。



掲載 URL :

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/cyousa/cyousa19/kazoku/>

※「ぽっけ」は3. 活動分野別事例 (1) 子育て母親支援で紹介されています



入試相談会でギモンを解決! AO入試エントリーも受付中!!

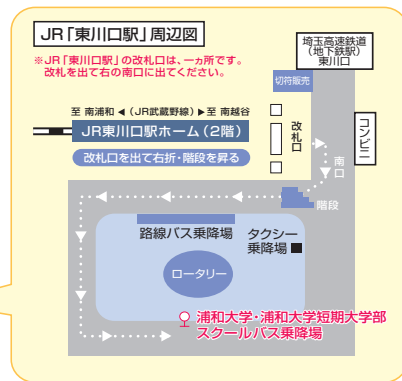
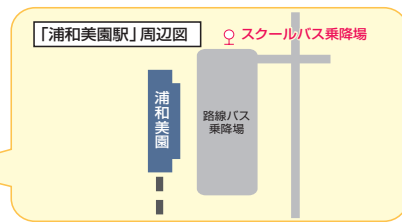
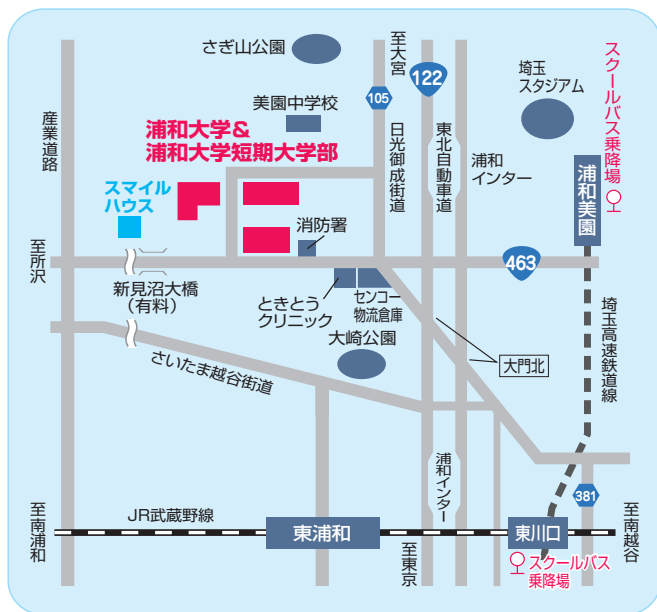
★入試相談会・ミニオープンキャンパス日程

11/8 11/22 12/20 1/10 2/7

- * 予約不要。保護者の方の同伴、高校の先生もぜひお越しください。
- * 学部ごとの詳細については本学ホームページをご覧ください。
- * 入試相談会の開催当日は、JR武蔵野線「東川口駅」または埼玉高速鉄道「浦和美園駅」よりスクールバスを運行します。(スクールバス乗り場は下記の地図を参照ください)

★AO入試エントリーカード配布について

浦和大学・浦和大学短期大学部ではAO入試のエントリーを受付しています。
 AO入試の受験には、**自己PRを記入した本学所定のエントリーカードの提出が必要**となります。AO入試での出願を検討されている方は、下記入試広報課までエントリーカードの送付をご請求ください。
 またエントリーカードは、**入学相談会や個別見学で来校いただいた際にも直接お渡しできます**。個別面談ではAO入試に関するご質問やエントリーカードの書き方などについてもご相談いただけます。
 本学を第一志望(専願)される方は、ぜひご活用ください。



オープンキャンパス 〔スクールバス時刻表(土曜日)〕

※この運行表は土曜日に来校いただく方用です。
 ※平日(月～金曜日)に学校見学・入学相談に来校いただく方は、本学ホームページ掲載の平日運行表をご覧ください。

東川口駅発

時	浦和大学行
8	10 35
9	30
10	00
11	00 30
12	00 20 40
13	00 30
14	00
15	00

浦和美園駅発

時	浦和大学行
8	20
9	10
10	30
11	20
12	35
13	05
14	05
15	05

学校法人 九里学園 浦和大学／浦和大学短期大学部 入試広報課

〒336-0974 さいたま市緑区大崎3551 ☎0120-860-294 ☎048-878-5536(直通) FAX 048-878-5690(直通)
 URL <http://www.urawa.ac.jp/> E-mail nyushi@urawa.ac.jp